



ワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークーラー

取扱説明書・保証書



MDR-NWBT20N

©2013 Sony Corporation Printed in Malaysia

保証書	持込修理																
<table><tbody><tr><td>品名</td><td>ワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークーラー</td></tr><tr><td>型名</td><td>MDR-NWBT20N</td></tr><tr><td>お買上げ日</td><td>平成 西暦 年 月 日</td></tr><tr><td>お問合せ先</td><td>修理相談窓口</td></tr></tbody></table>	品名	ワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークーラー	型名	MDR-NWBT20N	お買上げ日	平成 西暦 年 月 日	お問合せ先	修理相談窓口									
品名	ワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークーラー																
型名	MDR-NWBT20N																
お買上げ日	平成 西暦 年 月 日																
お問合せ先	修理相談窓口																
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様のご記入の上、修理をお申し付けください。																	
<table><tbody><tr><td>ソニー・特約店</td><td></td></tr><tr><td><div><div><div><div><div><div></div></div></div></div></div></div></td><td></td></tr><tr><td>お問合せ先：修理相談窓口</td><td></td></tr><tr><td>フリーダイヤル： 0120-222-330</td><td></td></tr><tr><td>携帯電話・PHS：一部のIP電話からは、050-3754-9599</td><td></td></tr><tr><td>ホームページ：http://www.sony.jp/support/</td><td></td></tr><tr><td>ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075</td><td></td></tr></tbody></table>	ソニー・特約店		<div><div><div><div><div><div></div></div></div></div></div></div>		お問合せ先：修理相談窓口		フリーダイヤル： 0120-222-330		携帯電話・PHS：一部のIP電話からは、050-3754-9599		ホームページ： http://www.sony.jp/support/		ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075				
ソニー・特約店																	
<div><div><div><div><div><div></div></div></div></div></div></div>																	
お問合せ先：修理相談窓口																	
フリーダイヤル： 0120-222-330																	
携帯電話・PHS：一部のIP電話からは、050-3754-9599																	
ホームページ： http://www.sony.jp/support/																	
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075																	
<table><tbody><tr><td>保証期間</td><td>お買上げの日から</td><td>1年</td></tr><tr><td>お客様住所</td><td>電話</td><td>-</td></tr><tr><td>お名前</td><td></td><td>様</td></tr></tbody></table>	保証期間	お買上げの日から	1年	お客様住所	電話	-	お名前		様								
保証期間	お買上げの日から	1年															
お客様住所	電話	-															
お名前		様															
無料修理規定																	
1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合(1)は、本書に強い 無料修理 をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種別は、(1)お買上げのお日、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。																	
<table><tbody><tr><td>種別</td><td>受付窓口</td><td>保証書の提示・提出</td><td>注意事項</td></tr><tr><td>出張修理 (1)(2)(3)</td><td></td><td>出張修理担当者が訪問した際に提示</td><td>※1</td></tr><tr><td>持込修理 (1)(2)</td><td></td><td>持参した製品の修理依頼の際に提示</td><td>※2</td></tr><tr><td>引取修理 (3)</td><td></td><td>製品の引取時に指定業者へ提出</td><td></td></tr></tbody></table> ※1 修理及び部品に際する通関手への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し付けます。 ※2 (1)(2)への依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。	種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項	出張修理 (1)(2)(3)		出張修理担当者が訪問した際に提示	※1	持込修理 (1)(2)		持参した製品の修理依頼の際に提示	※2	引取修理 (3)		製品の引取時に指定業者へ提出		
種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項														
出張修理 (1)(2)(3)		出張修理担当者が訪問した際に提示	※1														
持込修理 (1)(2)		持参した製品の修理依頼の際に提示	※2														
引取修理 (3)		製品の引取時に指定業者へ提出															
2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。 3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。 (1)本書に提示されない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー・特約店の記載がない場合(3)本書の記載と異なる場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の修理、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災・地震、風水害、落雷その他の天災地災、公害、盗害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換 4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をやる場合がありますのでご了承ください。 5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。 6. 本書に基づく 無料修理 (製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。 7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。 8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。 9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)																	
<table><tbody><tr><td>修理メモ</td></tr></tbody></table>	修理メモ																
修理メモ																	
<small>※本書はお客様に法律上の権利を制限するものではありません。 ※保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-4</small>																	

お買い上げいただきありがとうございます。		
<table><tbody><tr><td>警告</td><td>電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。</td></tr></tbody></table>	警告	電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
警告	電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。	
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。		

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る																
この「安全のために」の注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。																
定期的に点検する																
1年に一度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。																
故障したら使わない																
動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。																
万一、異常が起きたら																
<table><tbody><tr><td><ul style="list-style-type: none">変な音、においがしたら煙が出たら液漏れしたら</td><td>お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。</td></tr></tbody></table>	<ul style="list-style-type: none">変な音、においがしたら煙が出たら液漏れしたら	お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。														
<ul style="list-style-type: none">変な音、においがしたら煙が出たら液漏れしたら	お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。															
警告表示の意味																
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。																
<table><tbody><tr><td>危険</td><td>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。</td></tr><tr><td>警告</td><td>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。</td></tr><tr><td>注意</td><td>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</td></tr></tbody></table>	危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。										
危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。															
警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。															
注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。															
<table><tbody><tr><td>注意を促す記号</td><td>行為を禁止する記号</td><td>行為を指示する記号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>注意</td><td>火災</td><td>感電</td></tr><tr><td></td><td>禁止</td><td>接続禁止</td></tr><tr><td></td><td>分解禁止</td><td></td></tr></tbody></table>	注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号				注意	火災	感電		禁止	接続禁止		分解禁止		
注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号														
注意	火災	感電														
	禁止	接続禁止														
	分解禁止															
危険	下記の注意を守らないと火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。															

同梱以外のケーブルを使わない	
充電するときは、必ず同梱のマイクロUSBケーブルを使用してください。	
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。	
推奨以外のAC/パワーアダプターを使わない	
AC/パワーアダプターを用いて充電するときは、必ず本製品に対応している別売りのAC/パワーアダプター（AC-NWUM60など）を使用してください。対応機種についての詳細は、「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。	
分解しない	
故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご依頼ください。	
火の中に入れない	
火のそばや炎天下などで充電したり、放置しないでください。	

	警告	下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。
	火災	
	感電	

運転中は使用しない	
自動車やバイク、自転車などの運転をしながら使用しないでください。特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。	
内部に水や異物を入れない	
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。	
布団などであった状態で使わない	
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。	

	注意	下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
--	-----------	---

大音量で長時間続けて聞かすぎない	
耳を刺激するよう大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。	
はじめからボリュームを上げすぎない	
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。	
通電中の製品に長時間ふれない	
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。	
かゆみなど違和感があったら使わない	
ヘッドホンが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。	
イヤークーピースはしっかり取り付ける	
イヤークーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤークーピースはしっかり取り付けてください。	

航空機内で使わない	
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。	

医療機器の近くで使わない	
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。	

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す	
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。	

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない	
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。	

本製品は、国内専用です	
海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。	

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険	充電式電池が液漏れしたとき
充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない	
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。	
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるの目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。	
液が身体や衣類についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。	

警告	充電式電池について
-----------	------------------

- 本製品と同梱のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

本製品を廃棄するときのご注意	
	機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
Li-ion	

本製品の取り扱いについて			
以下のような場所に置かないでください。			
・直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ			
・変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。			
・ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)			
本製品の使用上の注意事項			
本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。			
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。			
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。			
3. 不明な点その他のお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。			
<table><tbody><tr><td>2.4 FH1</td><td>この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。</td></tr></tbody></table>	2.4 FH1	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。	
2.4 FH1	この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10 mです。		

使用上のご注意

- Bluetooth通信について
 - Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
 - Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本製品とBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本製品とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
 - Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
 - 本機は、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
 - Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本機はすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。

- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

- ノイズキャンセリング機能について**
- 同梱および対象のヘッドホンをお使いの場合のみ有効です。それ以外のヘッドホンを使っているときには、ノイズキャンセリング機能は働きます。対象のヘッドホンについての詳細は、「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。
- イヤークーピースが耳にフィットしていないと、ノイズキャンセル効果が得られまませんので、イヤークーピースをおさまりの良い位置に調整したり、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。
- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音がり打ち消されるわけではありません。
- ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセル効果がなくなることがあります。

	マイク部
--	-------------

- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセル効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、ノイズキャンセリング機能を無効にしてください。
- 携帯電話の影響により、ノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本製品を離してお使いください。
- ヘッドホンを通製品から抜き差しするときは、ヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでも抜き差しすると、ヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。
- ノイズキャンセリング機能の有効/無効を変更するときに切り換え音が発生しますが、ノイズキャンセリング回路切り換えにより起こるものであり、故障ではありません。

- その他のご注意**
- 本製品の使用中に不快感が発生した場合はすぐに使用を停止して、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本製品は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 本製品は防水・防滴仕様ではありません。
 - 水濡れや汗浸入により、内部が腐食し、故障の原因になることがあります。一水がからないように注意し、湿気の多い場所での使用は避けてください。
 - 操作部やマイクロUSB端子部は、濡れた手で触らないようご注意ください。ご使用前、およびパソコン接続前・充電前には、乾いた布で水分や汗を拭き取ってください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにお問い合わせください。

- 電源が入らない
 - 本製品を充電する。
 - 充電中は電源を入れることができません。マイクロUSBケーブルを本製品からはずして電源を入れ直す。
- ペアリングできない
 - 本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてからペアリングを行う。
 - Bluetooth機器のプロファイルが本製品と異なる。プロファイルが異なる機器とのペアリングはできません。

- Bluetooth接続ができない
 - 本製品の電源が入っているか確認する。
 - Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能が有効になっていることを確認する。

- 本製品内あるいはBluetooth機器内において、お互いのペアリング情報が削除されている。再度ペアリングを行う。

- ワンタッチ(NFC)接続ができない
 - Bluetooth機器にNFC機能があるか確認する。
 - 本製品をBluetooth機器にタッチしたまま、ゆっくり前後左右に動かす。

- Bluetooth機器にケースを付けている場合は、ケースをはずす。
- 音が途切れる
 - 無線LANやBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波が発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。
 - 本製品のアンテナを相手側Bluetooth機器の方向へ向け、障害物で遮らないようにする。

- 本製品を操作できない
 - HOLDが解除されているかを確認する。HOLD状態になっているときは、HOLDを解除する。
 - 本製品をリセットする。詳しくは、「各部の名前」のヒントをご覧ください。

- 充電が完了しない
 - 本製品とパソコンが同梱のマイクロUSBケーブルでしっかり接続されているか確認する。
 - パソコンの電源が入っているか、スタンバイ(スリープ)、休止状態に入っていないか確認する。
 - 本製品とパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接つながっているか確認する。
 - 接続しているパソコンのUSBポートに問題がある可能性がある。パソコンに別のUSBポートがあれば、そのポートに接続し直す。
 - 上記に当てはまらない場合は、USB接続をし直す。

- 充電時間が長い
 - 本製品とパソコンがUSBハブなどを經由せずに直接つながっているか確認する。

- 音が出ない
 - 本製品の電源が入っているか確認する。音量が小さすぎないか確認する。
 - ヘッドホンがジャックにしっかり差し込まれていない。正しく接続されていないと再生音が正常に聞こえません。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
 - ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。Bluetooth接続する。本製品とBluetooth機器の接続ができていない。Bluetooth接続する。
 - Bluetooth機器で音楽が再生されていないか確認する。機器側で音量を調節する必要がある場合は、音量を上げる。
 - 本製品とBluetooth機器を再度ペアリングする。

- 音が小さい
 - 本製品の音量を上げる。
- 音楽再生中に音が途切れやすい
 - 本製品は高い音声ビットレートで音楽を受信できますが、ご使用環境によっては音が途切れやすい場合があります。「各部の名前」のヒントをご覧ください。ワイヤレス再生品質の設定を変更してください。

- ノイズキャンセル効果が得られない
 - NOISE CANCELINGスイッチが中央の●の位置になっているか確認する。
 - 「使用上のご注意」の「ノイズキャンセリング機能について」の項目を確認する。

商標について
「ウォークマン」、 WALKMAN 、 WALKMAN ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
MicrosoftおよびWindows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
Apple、MacおよびiTunesは米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

主な仕様

概要	レシーバー部
対応機種	電源
本製品の対応機種についての詳細は、「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。	内蔵リチウムイオン充電式電池使用 USB電源(同梱のマイクロUSBケーブルを接続して、パソコンから供給)
通信方式	動作温度
Bluetooth標準規格 Ver. 3.0	5℃～35℃
出力	外形寸法(幅/高さ/奥行き、最大突起部含まず)
Bluetooth標準規格 Power Class 2	約59.5 × 22 × 12.3 mm
最大通信距離	最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)
見通し距離 約10 m ¹⁾	約59.8 × 22.8 × 20.9 mm
使用周波数帯域	質量
2.4 GHz帯(2.4000 GHz - 2.4835 GHz)	約17 g
変調方式	電池持続時間(連続再生時)
FHSS	Bluetooth機能搭載「ウォークマン」と接続の場合 ノイズキャンセリングオン時：約8時間 ノイズキャンセリングオフ時：約9.5時間
対応Bluetoothプロファイル²⁾	充電時間
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)	約2時間
対応コーデック³⁾	出力端子
SBC ⁴⁾ 、AAC ⁵⁾	ヘッドホンジャック(ステレオミニ)
伝送帯域(A2DP)	最大出力
20 Hz - 20,000 Hz(44.1 kHzサンプリング時)	10 mW+10 mW (16 Ω)
ノイズキャンセリング機能	ヘッドホン部
デジタルノイズキャンセリング(ANノイズキャンセリング機能搭載)	型式
	密閉ダイナミック型
総音圧抑制量(TNSR)	ドライバーユニット径
17 dB ⁶⁾	約13.5 mm
	インピーダンス
	16Ω
	音圧感度
	105dB/mW
	コード長
	約40 cm

同梱品	
<ul style="list-style-type: none">ワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークーラー (1) ヘッドホン(1) イヤークーピース(S、M、L各2)お買い上げ時はMサイズが装着されています。 マイクロUSBケーブル(1) 取扱説明書・保証書(1)	

- ^{*)} 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- ^{*)} Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
- ^{*)} 音声圧縮変換方式のこと
- ^{*)} Subband Codec の略
- ^{*)} Advanced Audio Codingの略
- ^{*)} 当社規定の航空機シミュレートノイズ下におけるヘッドホン非装着時との比較による値。総音圧抑制量(当社測定法による)約17dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当。

マイクロUSBケーブルでの充電に必要な動作環境
<ul style="list-style-type: none">• 下記環境を満たすすべてのパソコンで動作を保証するものではありません。 • 以下のOSを標準インストールしたIBM PC/AT互換機専用です。 <ul style="list-style-type: none">– Windows Vista® Home Basic (Service Pack 2以降) – Windows Vista® Home Premium (Service Pack 2以降) – Windows Vista® Business (Service Pack 2以降) – Windows Vista® Ultimate (Service Pack 2以降) – Windows® 7 Starter (Service Pack 1以降) – Windows® 7 Home Premium (Service Pack 1以降) – Windows® 7 Professional (Service Pack 1以降) – Windows® 7 Ultimate (Service Pack 1以降) – Windows® 8 – Windows® 8 Pro – Mac OS® X v10.6以降 • 標準インストールのみ。 • 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。 <ul style="list-style-type: none">– 自作パソコン – 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境 – マルチブート環境
本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
<ul style="list-style-type: none">• 本書には、保証書が印刷されています。 • 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。 • 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合が悪いときはサービスへ
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて対応させていただきます。なお当社の判断により有料にて交換対応させていただく場合がございます。
部品の保有期間について
当社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

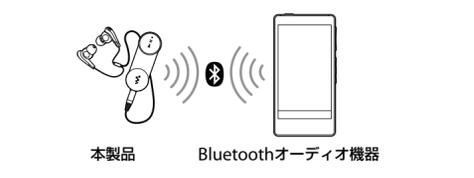
お問い合わせ窓口のご案内
本製品についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
<ul style="list-style-type: none">• ホームページで調べるには⇒ウォークマン カスタマーサポートへ (http://www.sony.co.jp/walkman-support/) • 最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。 • 電話・FAXでのお問い合わせは⇒ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号) お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。 <ul style="list-style-type: none">– 型名：MDR-NWBT20N – ご相談内容：できるだけ詳しく – お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは「ホーム」をご覧ください。	http://www.sony.jp/support/
使い方相談窓口	
フリーダイヤル… 0120-333-020 携帯電話・PHS… 050-3754-9577	
修理相談窓口	
フリーダイヤル… 0120-222-330 携帯電話・PHS… 050-3754-9599 ※修理受付時間/受付場所は「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。	
FAX(英語) 0120-333-389	

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

こんなことができます

- 本製品はBluetooth無線技術を利用したワイヤレスノイズキャンセリングステレオイヤークラスパーです。
- 本製品に対応する「ウォークマン」やBluetoothオーディオトランスミッターなどのBluetooth対応機器^{※1}（以降、Bluetooth機器と記載します）の、音楽をワイヤレスで楽しむことや、Bluetooth機器の基本的なリモコン操作（再生、停止など）ができます。
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくく、簡単に接続ができるBluetooth標準規格Ver3.0と、以下のプロファイルに対応しています。
 - A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツの送受信。
 - AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）：再生、一時停止、停止、ボリューム調節など、AV機器の操作。
- ワンタッチ接続（NFC）機能搭載^{※2}
 - NFCを利用した簡単ペアリング、Bluetooth接続・切断・切り換え、電源オンをワンタッチで行えます。
- デジタルノイズキャンセリング機能搭載
 - ノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。
- AIノイズキャンセリング機能搭載
 - その場の騒音を解析し、最適なノイズキャンセリングモードを自動選択します。



- ^{※1}対応機種についての詳細は、裏面の「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマンカスタマーサポート」のホームページをご覧ください。
- ^{※2}ワンタッチ接続を利用するにはBluetooth機器にNFC機能が必要です。NFC非対応の機器に対しては、通常のBluetooth接続操作にてご利用いただけます。

ご注意
本製品はBluetoothプロファイルHFP（Hands-Free Profile：ハンズフリープロファイル）およびHSP（Headset Profile：ヘッドセットプロファイル）には対応していません。スマートフォンにお使いの場合、音楽再生のみに対応しています。通話にはご使用できませんのでご注意ください。

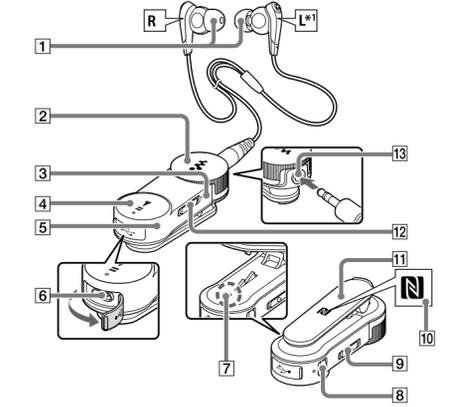
Bluetooth無線技術について

Bluetooth無線技術は、デジタルミュージックプレーヤーやヘッドホンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。USBのように機器同士をケーブルでつぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

各部の名前



- 1 ヘッドホン
- 2 シャトルスイッチ(◀◀/▶▶)
- 3 ランプ(青)(赤)
 - 通信状態を青色、電源状態を赤色でお知らせします。
- 4 ▶▶ボタン^{※1}
- 5 内蔵アンテナ
 - Bluetooth通信中は内蔵アンテナ部分を手などでおわないでください。Bluetooth通信に障害を起こすことがあります。
- 6 マイクロUSB端子
- 7 RESET（リセット）ボタン
- 8 VOL（ボリューム）+*/-レバー
- 9 NOISE CANCELING（ノイズキャンセリング）スイッチ
- 10 Nマーク
- 11 クリップ
- 12 ⏻（電源）/HOLD（ホールド）スイッチ
- 13 ヘッドホンジャック

- ^{※1} 凸点（突起）が付いています。目印としてお使いください。

本製品の操作

操作	操作手順
電源を入れる／切る	⏻/HOLDスイッチを⬅側に（ランプ(青)が点滅/点灯し、ヘッドホンからピープ音が聞こえるまで）スライドする。
再生／一時停止する	▶▶ボタンを押す。
前(または再生中) / 次の曲を頭出しする	シャトルスイッチを◀◀/▶▶に回す。
早戻し/早送りする	シャトルスイッチを◀◀/▶▶に回したままにする。
音量を上げる／下げる	VOL+/-レバーを+側/-側に倒す。
音量を続けて上げる／下げる	VOL+/-レバーを+側/-側に倒したままにする。
ノイズキャンセリングを有効にする／無効にする	NOISE CANCELINGスイッチを中央の●の位置にスライドする/OFF側にスライドする。
AIノイズキャンセリングを使う	NOISE CANCELINGスイッチを（ランプ(青)が点滅し、ヘッドホンからピープ音が聞こえるまで）AI NC側にスライドする。
誤操作を防ぐためHOLD状態にする／HOLDを解除する	⏻/HOLDスイッチをHOLD側にスライドする/中央の●の位置にスライドする。
ペアリングモードにする	電源が切れている状態で、⏻/HOLDスイッチを⬅側に約7秒間（ランプ(青)(赤)が交互に点滅するまで）押し続ける。

ご注意

- HOLD状態の場合は、全ての操作が無効になります（ノイズキャンセリングの有効/無効を除く）。各操作をするには、まずHOLDを解除してください。

⚠️ヒント

- 本製品が正しく機能しない場合は、次のイラストのようにクリップを開き、ペンなどでRESETボタンを押してリセットしてください。リセットしてもペアリング情報は削除されません。



- Bluetooth機器との通信時の、ワイヤレス再生品質の設定を変更することができます。下表のように操作することで、順番に切り換わります。現在の状態は、変更操作後のランプ(青)の点滅回数で確認できます。

ワイヤレス再生品質	説明	設定変更の操作	ランプ(青)点滅回数
AAC ^{※1}	Bluetooth機器がAACに対応していないときはSBC 音質優先になります。	VOLレバーを+側に倒しながら電源を入れる	3回
SBC ^{※2} 音質優先	音質を優先します ^{※3} （お買い上げ時の設定）。接続が不安定になることがあります。		2回
SBC接続優先	音質より接続安定性を優先します ^{※4} 。接続が不安定なときはこの設定を選んでください。		1回

^{※1} Advanced Audio Coding の略

^{※2} Subband Codec の略

^{※3} Bluetooth機器側が接続優先に設定されている場合は、接続安定性を優先します。

^{※4} Bluetooth機器側が音質優先に設定されている場合でも、接続安定性を優先します。

ランプ表示

Bluetoothの通信状態をランプで確認できます。

状態	点滅パターン(○：青／●：赤)
機器検索中	○●○●○●○●○●...
接続待ち	○—○—○—○—○—○...
接続動作中	○○—○○—○○—○○...
接続済み	○-----○-----...
音楽再生中	○○-----○○-----...

⚠️ヒント

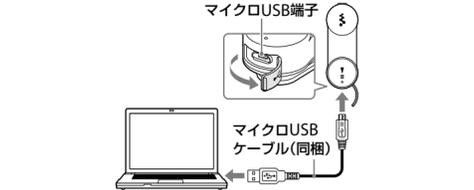
電池の残量が少なくなると、機器検索中の点滅状態以外では、ランプの色は青から赤に変わります。

準備する

充電する

本製品はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。充電してからお使いください。本製品の充電中は、ランプ(赤)が点灯し、充電が完了後にランプは消灯します。充電時間は約2時間です。

パソコンから充電する



- 本製品のマイクロUSB端子のカバーを開く。
- 同梱のマイクロUSBケーブルで、本製品と起動しているパソコンを接続する。

電源コンセントから充電する

本製品に対応している別売りのAC/DCワアアダプター（AC-NWUM60など）を使うと、パソコンを使わずに、電源コンセントから充電することもできます。対応機種についての詳細は、裏面の「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。

電池の残量を確認する

本製品の電源を入れたときに、ランプ(赤)の点滅回数で電池の残量を確認できます。

ランプ(赤)	電池残量
3回点滅	満
2回点滅	中
1回点滅	減(要充電)

ご注意

- 本製品の電源が入っているときは、電池の残量を確認できません。
- 電池の残量が完全になくなると、ヘッドホンからピープ音が聞こえ、本製品の電源が自動的に切れます。

充電についてのご注意

- 本製品と同梱のマイクロUSBケーブル以外で充電しないでください。
- 本製品を長期間お使いにならないときは、パソコンにつないで充電しても、本製品のランプ(赤)がすぐに点灯しない場合があります。本製品からマイクロUSBケーブルをはずさず、ランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 本製品の電源が入っているときに充電を開始すると、本製品の電源は自動的に切れます。また、充電中は本製品の電源を入れることはできません。
- 周囲の温度が5℃～35℃の環境にて充電を行ってください。この範囲を超えて充電を行うと、充電完了前にランプ(赤)が消灯することがあります。
- 本製品とパソコンを接続中にパソコンが省電力モードになると、正しく充電されません。接続を行う前にパソコンの設定を確認してください。パソコンが省電力モードになるとランプ(赤)は自動的に消灯します。この場合は、充電をやり直してください。
- 本製品とパソコンは、同梱のマイクロUSBケーブルを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されないことがあります。

ヘッドホンを接続する

1 同梱のヘッドホンを接続する。



奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。正しく接続されていないと、再生音が正常に聞こえません。

ヘッドホンのイヤークラスパーを交換する

最も耳にフィットするサイズのイヤークラスパーに交換してください。

- ヘッドホンを押さえた状態で、イヤークラスパーをねじりながら引き抜く。

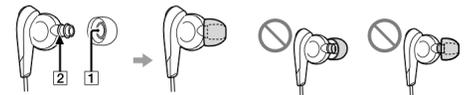


⚠️ヒント

イヤークラスパーが滑ってはずれない場合は、乾いた柔らかい布でぐるむとはずれやすくなります。

2 新しいイヤークラスパーをヘッドホンに取り付ける。

イヤークラスパーの着色部分の先端[1]が、ヘッドホンの突起部分にある[2]位置にくるまで押し込んでください。イヤークラスパーが外れて耳に残らないよう、ヘッドホンにしっかり取り付けてください。



⚠️ヒント

イヤークラスパーが破損した場合には、イヤークラスパー EP-EX11（別売）をご購入ください。

音楽を聞く

準備

- Bluetooth機器にNFC機能があるか確認する。**
 - 確認方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

NFC機能がある場合

▶▶ ワンタッチ（NFC）接続で音楽を聞く」の操作を行ってください。

NFC機能がない場合

2へお進みください。

2 Bluetooth機器に本製品がペアリングされているかを確認する。

確認方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。本製品は「MDR-NWBT20N」と表示されます。

ペアリングされていない場合

▶▶ ペアリングしてから音楽を聞く」の操作を行ってください。

ペアリングされている場合

▶▶ ペアリング済みのBluetooth機器で音楽を聞く」の操作を行ってください。

▶▶ ワンタッチ（NFC）接続で音楽を聞く

ご注意

本製品がHOLD状態の場合は、全てのボタン操作が無効になります（ノイズキャンセリングの有効/無効を除く）。各ボタンの操作をするときは、まずHOLDを解除してください。

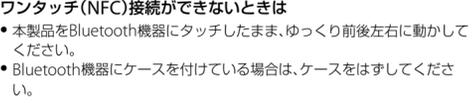
- Bluetooth機器側のNFC機能を使う準備をする。**
 - 操作方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本製品をBluetooth機器にタッチする。

本製品のNマーク部分をBluetooth機器の所定の位置にタッチします。Bluetooth機器が本製品を認識するまでタッチし続けてください。本製品の電源が切れていてもタッチするだけで電源が入り（ランプ(青)が点灯）、電池残量をお知らせするランプ(赤)が点滅します。点滅回数については「電池の残量を確認する」をご覧ください。続いて、ランプ(青)が点滅し、接続待ち状態になります。

- Bluetooth機器側の操作を行い、接続を完了する。**
 - 操作方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。接続が完了すると、本製品のランプ(青)の点滅が、ゆっくりとした点滅に変わります。

- Bluetooth機器の音楽やビデオを再生する。**
 - 本製品のボタン操作方法は、「各部の名前」をご覧ください。再生が始まると本製品のランプ(青)が2回点滅を繰り返します。



- 本製品をBluetooth機器にタッチしたまま、ゆっくり前後左右に動かしてください。
- Bluetooth機器にケースを付けている場合は、ケースをはずしてください。

他のBluetooth機器に接続を切り換えるには

Bluetooth機器と接続された状態で、他のNFC対応Bluetooth機器にタッチすると、接続先を他のBluetooth機器に切り換えることができます。

Bluetooth機器との接続を切断するには

本製品のNマーク部分を接続先のBluetooth機器にもう一度タッチします。Bluetooth機器が本製品を認識するまでタッチし続けてください。Bluetooth機器との接続が切断され、ランプ(青)が点滅し、接続待ち状態になります。5分以上接続待ち状態が続いた場合、接続待ち状態は解除され、電源が切れます。

▶▶ ペアリングしてから音楽を聞く

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません*。

ご注意

本製品がHOLD状態の場合は、全てのボタン操作が無効になります（ノイズキャンセリングの有効/無効を除く）。各ボタンの操作をするときは、まずHOLDを解除してください。

- Bluetooth機器の電源を入れる。**
 - 操作方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth機器を本製品の1 m以内に置いてください。

- 本製品をペアリングモードにする。**
 - 電源が切れている状態で⏻/HOLDスイッチを⬅側に約7秒間（ランプ(青)(赤)が交互に点滅するまで）押し続けます。



⚠️ヒント

本製品をお買い上げ時、または、本製品内のペアリング情報がすべて削除されている場合は、電源が切れている状態で⏻/HOLDスイッチを⬅側にスライドして電源を入れるとペアリングモードになります。

- Bluetooth機器をペアリングモードにする。**
 - 操作方法はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth機器が周囲にある接続可能な機器の検索を開始します。

- ペアリングを完了し、Bluetooth接続状態にする。**
 - Bluetooth機器の画面に表示される検出した機器の一覧の中から、本製品「MDR-NWBT20N」を選び、ペアリングを完了します。パスキーを入力する画面が表示されたときには、「0000」と入力してください。操作方法はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。ペアリングが完了するとBluetooth接続した状態になり、ランプ(青)の点滅がゆっくりとした点滅に変わります。

ご注意

- Bluetooth機器によっては検出した機器の一覧を表示しない場合があります。詳細はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 5分以内にペアリングを完了できなかった場合、本製品のペアリングモードは解除され、電源が切れます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。

⚠️ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングする機器ごとに手順1から繰り返し操作してください。

- Bluetooth機器の音楽やビデオを再生する。**
 - 本製品のボタン操作については、「各部の名前」をご覧ください。再生が始まると本製品のランプ(青)が2回点滅を繰り返します。

⚠️ヒント

Bluetooth機器によっては、Bluetooth機器側でも音量の調節が必要な場合があります。

Bluetooth機器との接続を切断するには

Bluetooth機器を操作して、Bluetooth接続を切断します。操作方法はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth機器との接続が切断され、ランプ(青)が点滅し、接続待ち状態になります。5分以上接続待ち状態が続いた場合、接続待ち状態は解除され、電源が切れます。次回音楽を聞くときは▶▶ ペアリング済みのBluetooth機器で音楽を聞く」の操作を行ってください。

ペアリングを途中でやめるには

- 本製品の電源を切る。**
 - ⏻/HOLDスイッチを⬅側にスライドします。



ペアリング情報をすべて削除するには

- 本製品の電源を切る。**
 - ⏻/HOLDスイッチを⬅側にスライドします。



- ▶▶ボタンを押したまま、⏻/HOLDスイッチを⬅側に約7秒間押し続ける。**
 - ランプ(青)が4回点滅して、本製品に登録されているすべてのペアリング情報が削除されます。

- 以下の場合は、再度ペアリングを行ってください。
 - 修理を行ったなど、本製品内のペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - 本製品に9台以上のBluetooth機器をペアリングしたとき。本製品は8台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。9台目の機器をペアリングすると、ペアリング済の機器のうち、Bluetooth接続をした日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
 - ペアリングしたBluetooth機器内から本製品のペアリング情報が削除されたとき。

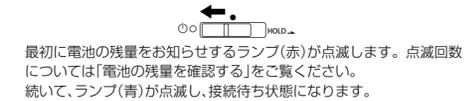
▶▶ ペアリング済みのBluetooth機器で音楽を聞く

ご注意

本製品がHOLD状態の場合は、全てのボタン操作が無効になります（ノイズキャンセリングの有効/無効を除く）。各ボタンの操作をするときは、まずHOLDを解除してください。

- Bluetooth機器の電源を入れる。**
 - 操作方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth機器を本製品の1 m以内に置いてください。

- 本製品の電源を入れる。**
 - 本製品の⏻/HOLDスイッチを⬅側にスライドして電源を入れます。



- Bluetooth機器側の操作を行い、接続を完了する。**
 - 操作方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。接続が完了すると、本製品のランプ(青)の点滅が、ゆっくりとした点滅に変わります。Bluetooth機器によっては電源を入れただけで接続を完了する場合があります。

- Bluetooth機器の音楽やビデオを再生する。**
 - 本製品のボタン操作については、「各部の名前」をご覧ください。再生が始まると本製品のランプ(青)が2回点滅を繰り返します。

⚠️ヒント

Bluetooth機器によっては、Bluetooth機器側でも音量の調節が必要な場合があります。

Bluetooth機器との接続を切断するには

Bluetooth機器を操作して、Bluetooth接続を切断します。操作方法はBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。Bluetooth機器との接続が切断され、ランプ(青)が点滅し、接続待ち状態になります。5分以上接続待ち状態が続いた場合、接続待ち状態は解除され、電源が切れます。

ノイズキャンセリング機能を使う

ノイズキャンセリングを有効にする

本製品のノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。

- 本製品のNOISE CANCELINGスイッチを中央の●の位置にスライドする。**



ご注意

- ノイズキャンセリング機能を備えたBluetooth機器と接続した場合、Bluetooth機器側のノイズキャンセリング機能を有効にする必要はありません*。また、本製品のNOISE CANCELINGスイッチでBluetooth機器側のノイズキャンセリング機能を操作することはできません。

最適なモードに設定する(AIノイズキャンセリング)

AIノイズキャンセリングはノイズキャンセリングモードを自動的に設定する便利な機能です。Bluetooth機器側のノイズキャンセリング機能を有効にする必要はありません*。また、本製品のNOISE CANCELINGスイッチでBluetooth機器側のノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の環境音の解析が始まります。モードに自動的に設定します。

- ⏻/HOLDスイッチを中央の●の位置にスライドして、HOLDを解除する。



- 本製品のNOISE CANCELINGスイッチをAI NC側にスライドする。**
 - 電源が入っている状態で、NOISE CANCELINGスイッチを（ランプ(青)が点滅し、ヘッドホンからピープ音が聞こえるまで）AI NC側にスライドすると、周囲の環境音の解析が始まります。解析中はヘッドホンから聞こえる再生中の音楽の音量が下がり、ランプが点滅します（約3秒間）。解析が終わると、周囲の環境に最も効果的なノイズキャンセリングモードへ自動的に切り換わり、再生音量が元に戻ります。

ノイズキャンセリングモードの種類

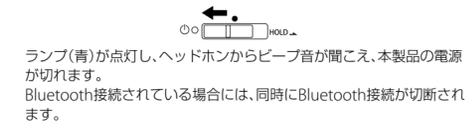
NCモードA	中低音の音を多く含む騒音に適しています。一時的なノイズが多い環境に効果的です。
NCモードB	超低音の音を多く含む騒音に適しています。主にバス・電車の騒音に効果的です。
NCモードC	比較的静かで広い帯域の騒音に適しています。主にオフィス・OA機器などの騒音に効果的です。

⚠️ヒント

室内から屋外へ移動したときなど、ご使用中に周囲の環境が変わった場合には、上記手順2の操作を行ってノイズキャンセリングモードを設定し直してください。

電源を切る

- 本製品の⏻/HOLDスイッチを⬅側にスライドする。**



Bluetooth接続されている場合には、同時にBluetooth接続が切断されます。

⚠️ヒント

音楽を停止していても、Bluetooth接続されている状態や接続待ち状態では、本製品の電池は消耗します。使用しないときは、本製品の電源を切ることで電池を長持ちさせることができます。